

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-85	小学校	音楽	音楽	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 404	小学生の音楽 4		

1. 編修の基本方針

豊かな未来を音楽でつむぐ

デジタル技術の進歩や、それに伴う社会の変化によって、子どもたちが新しい音楽に出会う機会は増えています。

音楽的な見方・考え方を働かせることによって、子どもたちが生活や社会の中の音や音楽と、より豊かに出会ったり、音楽の授業を通して、より豊かな音楽体験をしたりすることができるように、以下の3点を柱として、この教科書を編修いたしました。

① 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

子どもたちの「やってみたい」という意欲が自発的に生まれるように、学習の目当てやヒントとなるキャラクターの吹き出しを充実させ、子どもたちが主体的に学習を進めることができるようにしました。



② 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という音楽科特有の学習活動を進めながら、音楽科における「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成も着実に進めることができるように、教材や文章の示し方を工夫しました。



③ 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う



身の回りにある音や音楽と、学校の授業で学習する内容とを結び付けることによって、音楽の学びを自分の人生に生かせるような人間に育ててほしい、という願いから、身の回りの事象を教材化したり、「体験型」の鑑賞学習などを取り入れたりすることで、子どもたちが実感をもちながら、それらの音や音楽のよさやおもしろさを感じ取ることができるように配慮しました。

1 子どもたちの心が動く。～主体的、協動的な学びを促す

① 子どもたちの学習意欲を引き出します。

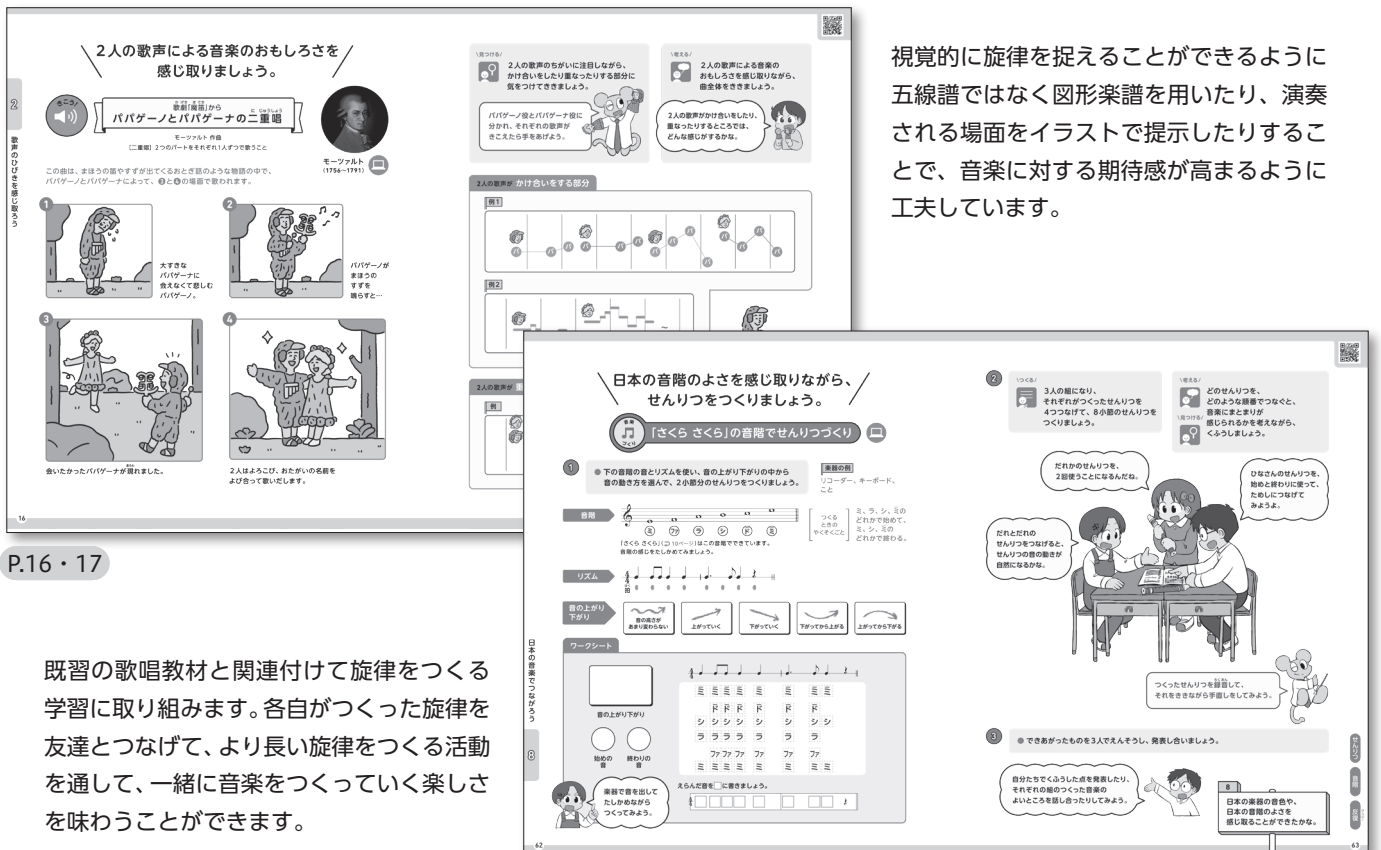
ナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場します。彼らの吹き出しがヒントになり、「この学習では、何に気付いて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、子どもたちの「やってみたい」という意欲が高まります。



P.48・49

② 魅力あふれる教材や学習で、ワクワク感を引き出します。

協動的な学びを深められるように、イラストや図形楽譜による提示の仕方を工夫し、子どもたちが音楽活動を楽しみながら、主体的に学習に取り組むことができるように配慮しました。



P.16・17

既習の歌唱教材と関連付けて旋律をつくる学習に取り組めます。各自がつくった旋律を友達とつなげて、より長い旋律をつくる活動を通して、一緒に音楽をつくっていく楽しさを味わうことができます。

P.62・63

2 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

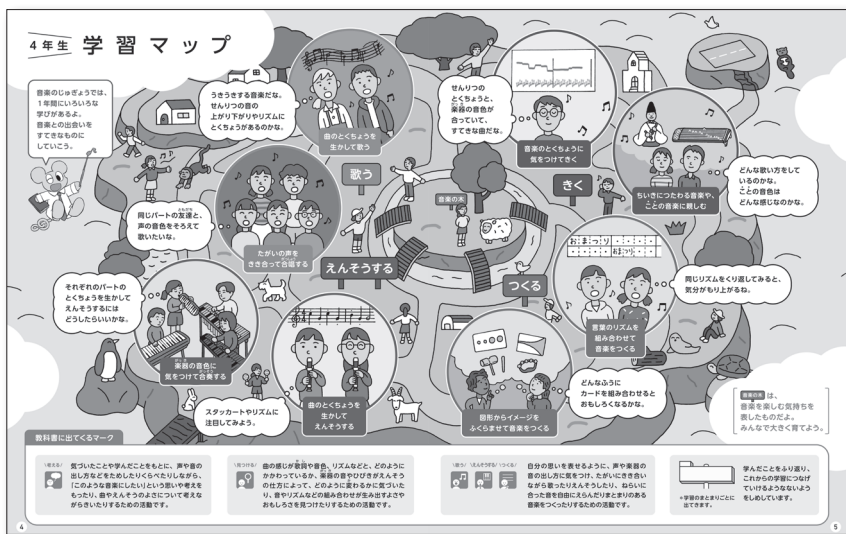
1 学習内容を見える化することによって、子どもたちの思考を刺激します。

「音楽に対してもった自分の思いをどう表現するのか」「この音楽のよさはどこにあるのか」といった「思考・判断・表現」や「知識」に関わる内容を意識しながら表現や鑑賞の学習を進めることができるように配慮し、子どもたち一人一人が学習の目当てをつかみやすいよう、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」のアイコンを示しました。

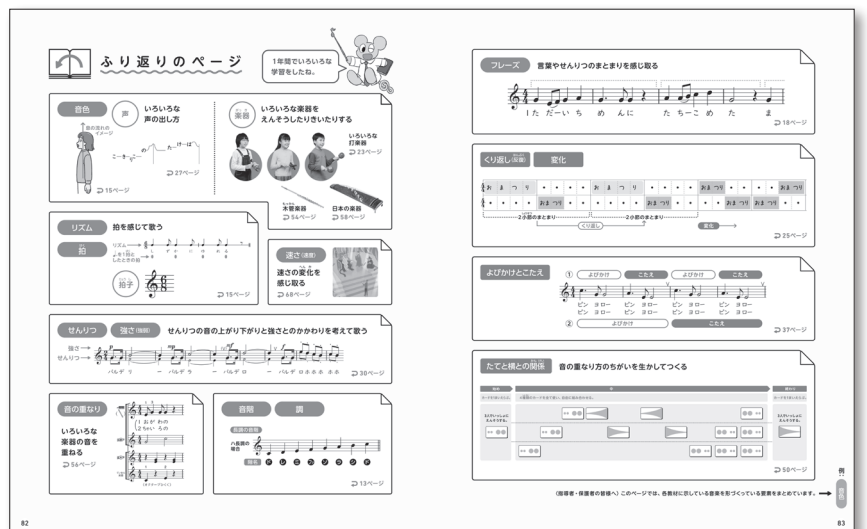


2 見通しをもった学びの実現

子どもたちが学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるように、各学年の冒頭に「学習マップ」のページを設けました。また、それぞれの学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめて確認することができる「ふり返りのページ」も掲載しています。



P.4・5



P.82・83

3 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う

1 地域に伝わる音楽や文化に親しむ。

次世代の音楽文化や地域文化を担う子どもたちの育成という観点から、地域に伝わる音楽の取り上げ方を工夫し、郷土の音楽を身近に感じながら鑑賞することができる教材や資料を取り上げました。



P.26 ~ 29



2 音楽的視野や価値観を広げる。

気付いたことを伝え合ったり、つくった作品を発表し合ったりする活動を通して、対話的な学びを進め、音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができるように配慮しています。また、友達や専門家の考え方に触れることを通して、多様な考えを尊重する態度も養います。



P.42・43

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるよう、すぐに開くことができる最終ページに配置しました。

国歌「君が代」の歌詞にある「さざれ石」について説明し、歌詞を覚えて歌う学習を支えます。



P.86・87

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
①音楽で心の輪を広げよう	友達と声を合わせて歌ったり体を動かしたりする学習を通して、豊かな情操を培えるようにしました。(第一号)	P.8・9
	「さくら さくら」を、美しい自然を大切にするという視点で扱えるようにしました。(第四号)	P.10・11
②歌声のひびきを感じ取ろう	長調の音階について、歌唱を通して自然に習得できる教材を掲載しました。(第一号)	P.12・13
	歌声のよさやおもしろさに注目して鑑賞したり、詩情豊かな歌を歌ったりする学習を通して、幅広い知識を身に付け、豊かな情操を培えるようにしました。(第一号)	P.14～19
③いろいろなリズムを感じ取ろう	簡単な手拍子によるアンサンブルを通して、音楽活動に必要な知識や技能を身に付けられるようにしました。(第一号、第二号)	P.20・21
	言葉をもとにしたリズムを繰り返したり変化させたりして音楽をつくる活動を通して、創造性を培う学習活動を設定しました。(第二号)	P.24・25
④ちいきにつたわる音楽に親しもう	「こきりこ」を取り上げて、その背景を知ったり、まねて歌ったりすることをきっかけに、自分の住んでいる地域に伝わる音楽に対する興味・関心を高められるようにしました。(第五号)	P.26～29
⑤せんりつのとくちょうを感じ取ろう	音楽の諸要素の働きが旋律や音楽の特徴とどのように結び付いているかを考える活動を通して、幅広い知識を得られるようにしました。(第一号)	P.30～35
	音楽の仕組みの働きが旋律の特徴とどのように結び付いているかを考える活動を通して、幅広い知識を得られるようにしました。(第一号)	P.36・37
⑥せんりつのもじりを感じ取ろう	合唱や合奏の活動を通して、友達と協力して活動する場面を設定し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.38～47
	リコーダーのサミングの技能を身に付けて、高音を用いた合奏を楽しめるようにしました。(第一号)	P.41
⑦いろいろな音のひびきを楽しもう	様々な打楽器の音色や音楽の仕組みを用いて、創造性豊かに音楽をつくることできるようにしました。(第二号)	P.48～51
	いろいろな木管楽器やその音が出る仕組み、音色に関する知識を得られるようにしました。(第一号)	P.52～55
⑧日本の音楽でつながろう	箏や三味線、三線といった楽器とそれらの音色に関する知識を得られるようにしました。(第一号)	P.58・59
	箏の鑑賞や演奏を通して、我が国の伝統と文化に親しみをもてるようにしました。(第五号)	P.58～61
	日本の音階を用いて旋律をつくる学習を通して創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.62・63
⑨思いを音楽で表そう	友達と協力して、声を合わせて歌ったり合奏したりする活動に取り組めるようにし、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.64～67
歌いっごう 日本の歌	我が国で長く歌い継がれている、季節にまつわる歌を歌うことを通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.70・71
みんなで楽しく	互いの歌声や楽器の音をよく聴き合って演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.72～81
国歌「君が代」	国歌「君が代」に歌われている「さざれ石」について知ることを通して、国歌「君が代」を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.86・87

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-85	小学校	音楽	音楽	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 404	小学生の音楽 4		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 主体的な学びや協働的な学びの充実

●主体的な学びを促すために、学習の手立ての示し方や教材配列を工夫するとともに、これまでに学んできたことを踏まえながら、友達との対話を通して学びを広げたり深めたりすることができるように配慮しました。

① 子どもたちが自身が「この学習で何を身に付け、何を工夫するのか」が分かるように示し、主体的な学びを引き出せるようにしました。

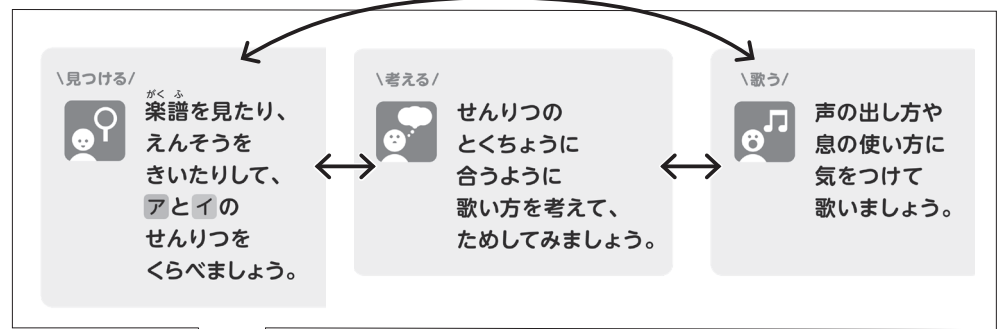
② 楽器の音のつなげ方や重ね方に注目して、子どもたちがそれぞれの考えを出し合いながら「打楽器の音楽」をつくります。

③ 教材と関連させながら、スモールステップの活動を積み重ねることで、音楽の力を育てる、「そだてよう」のコーナーを設けました。子どもたちはゲーム的な感覚で楽しみながら取り組むことができます。

2 子どもたちの音楽的な見方・考え方がより働く構成

●子どもたち一人一人が感じ取った音楽のよさについて、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるようになってほしいという思いで構成しました。

活動文は、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の、それぞれの内容を関連させながら、学びを広げたり深めたりすることができるようにしました。



題材名 せんりつのとくちょうを感じ取る

学習目標 せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。

【題材の最初のページ】

活動文

【題材の最後のページ】

学習のまとめ

【おもいだそう】

歌声ルーム 15ページ → 31ページ

P.30

P.30・31

P.36・37

30

31

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

題材のねらい
 この題材で何を学ぶのか、どのような学習をするのかを示しました。

学習のまとめ
 この題材で何を学んだのかを振り返り、これからの学習につなげるための内容を示しました。

「おもいだそう」コーナーの設置
 以前学習したことをもう一度確かめ、その内容を、新たな学習で生かせるようにしました。

【おもいだそう】

歌声ルーム 15ページ → 31ページ

P.38

3 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

- 楽譜や縦書き歌詞、活動文については、無地や単色の部分に配置するなど、読みやすさを確保しています。さらに、写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。

縦書き歌詞が見やすくなるように、イラストの構図を工夫しました。

「読む」 歌詞の表す様子や言葉のまじりに気をつけながら歌詞を音んだり歌ったりして、音のくちまじりを見つけてみよう。

「読む」 声の出し方や、言葉のまじりに気をつけ、歌い方をくふうしよう。

「読む」 歌詞の表す様子や歌い方をかきながら、声の出し方を見て歌いよう。

① ただーいさめんたーちーこめたーまあゆ
2もーうーおさだのばるのーかーげのーに
3いーまーさ

② まきばの朝
文部省編 船橋早吉 作曲

③ 今のさのばる 日のかげに
ゆめかきめた 森や山
あかい光に そめられた
遠い野に ビービーと
笛が鳴る鳴る

④ 一、たの一面に 立ちこめた
まきばの朝の きりの海
ぼうんぼうんの うすうすりと
黒いさから いさまくと
かねが鳴る鳴る カンパンと
二、もう起き出した 小屋、小屋の
あたりに高い人の声
きりにつつまれ あちこちに
動く羊の いく群れの
すがが鳴る鳴る リンリンと

⑤ 歌詞をつくった人には、
どんな音が聴えたり
どんな音が聴えたり
しているのかな。

⑥ 歌詞のいろいろなまじりとくちまじりを
感じることができたかな。

P.18・19

4 郷土の音楽を大切にしている心情を育てる教材

- 歌い方に注目してまねて歌ってみるといった体験型の鑑賞学習を通して、地域に伝わる音楽に親しむとともに、子どもたちの興味・関心に応じて調べ学習ができる資料ページも設けました。

歌 こーきーの たーけーはしーんこーじーやー
こきりこ

いーはーそーのーかーいーじやー
なーがーなーる

マドのサシサも デレレコーテン ハレのサシサも デレレコーテン

豊谷英穂子 採譜

P.27

チャレンジ ちいきにつたわるおどりやまいの音楽を調べよう

●ちいきにつたわる音楽を調べて、そのとくちよを感じ取りましょう。
日本の音楽には、いろいろなおどりやまいの音楽がつたえられています。
下のなかから好きなものをえらんで調べたり、自分たちが好きなおどりやまいの音楽を
調べてみて、おどりやまいの音楽のよさを感じ取りましょう。

アイヌ民族
アイヌ民族は、長い歴史
をたどってきた民族です。
アイヌ文化のよさを
伝えていくことが大切です。

民謡
民謡は、古くから
伝わる音楽です。人々の
生活や感情を表現する
ために作られました。

民謡の起源
民謡の起源は、古くから
伝わる音楽です。人々の
生活や感情を表現する
ために作られました。

民謡の発展
民謡は、古くから
伝わる音楽です。人々の
生活や感情を表現する
ために作られました。

民謡の伝承
民謡は、古くから
伝わる音楽です。人々の
生活や感情を表現する
ために作られました。

調べ方にはどのような方法があるかな。
おもしろい音楽を探る 図書館や資料館で調べる インターネットで調べる

④ おもしろい音楽を探る、おもしろい音楽のよさを感じることができたかな。

P.28・29

5 ICT 機器の活用への対応

- 全ての歌唱・器楽教材で、MIDIによる音源を聴くことができます。また、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツも準備しました。

ムーブの部屋

二次元
データが
入ります

学習に役立つ音楽や資料が
ウェブサイトにあります。

音楽をきくことができます。

資料を見ることができます。

P.6

6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①主体的、協働的な学びを促す。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるように題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(P.4・5)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土の音楽や日本の音楽に関わる題材を配置し、それらに親しみながら、表現したり鑑賞したりできるようにしました。(P.26～29、58～63)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語活動の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(P.79)
(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「ふり返りのページ」でも一覧できるようにしました。 	
その他	ICT機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードからURLを読み取ることによって、学習に役立つ歌唱・器楽教材のMIDI音源や、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツを活用できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい児童の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本・用紙	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●印刷は鮮明で、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式にしました。針金を使わないため、安全性にも優れています。 ●用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用しています。

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																	
ページ	教材名 ◎…鑑賞教材 / (共)…共通教材	歌唱					器楽					音楽づくり				鑑賞		〔共通事項〕	
		ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	
				(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)								(ア)
8	小さな世界	○				○												○	
10	(共) さくら さくら	○	○		○													○	
12	いいこと ありそう	○	○	○	○		○											○	○
14	風のメロディー	○	○		○	○	○		○	○								○	○
16	◎パパゲーノとパパゲーナの二重唱																○	○	○
18	(共) まきばの朝	○	○	○	○													○	
20	楽しいマーチ						○	○	○	○	○	○						○	○
22	いろんな木の実		○			○	○	○	○	○	○							○	○
24	言葉でリズムアンサンブル											○		○		○		○	
26	◎こきりこ																○	○	○
30	ゆかいに歩けば	○	○	○	○	○												○	○
32	陽気な船長						○	○	○	○	○	○						○	
34	◎白鳥																○	○	○
36	(共) とんび	○	○	○	○													○	
38	パレード ホッホー	○	○		○	○												○	
39	◎ファランドール																○	○	○
42	オーラリー		○	○			○	○	○	○	○	○						○	
44	(共) もみじ	○	○		○	○												○	
48	打楽器の音楽											○	○	○	○	○	○		○
52	◎ポロネーズ																○	○	○
56	茶色の小びん		○	○			○	○	○	○	○	○						○	○
58	◎こと独奏による主題と6つの変奏 「さくら」より																○	○	○
60	ことをひいてみよう							○		○									
62	「さくら さくら」の音階でせんりつづくり											○		○		○		○	
64	赤いやねの家	○	○	○	○	○												○	○
66	ジッパディー ドゥー ダー						○	○	○	○	○	○						○	
68	◎山の魔王の宮殿にて																○	○	○
70	歌いつごう 日本の歌	○	○	○	○	○												○	
72	ごんぎつね	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
74	いつだって!	○	○	○	○	○												○	
75	林の朝	○	○	○	○	○												○	
76	世界を旅する音楽室	○	○	○	○	○												○	
77	花束をあなたに	○	○	○	○	○												○	
78	チャレンジ!	○	○	○	○	○												○	
79	Sing a rainbow	○	○	○	○	○												○	
79	雨の公園/ ハッピー バースデイトゥユー						○	○	○	○	○	○						○	
80	スーパーカリフラジリスティックエ クスピアリドーシャス						○	○	○	○	○	○						○	
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○												○	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-85	小学校	音楽	音楽	第4学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 404	小学生の音楽 4		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)に関連して、音楽に関わる用語について、より知識を広げる。	0.25 ページ
合計				0.25 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容